

石川県における降雪の経済効果についての一考察

藤澤ゼミ 2013 年度卒業 K.S

1. はじめに

私たちが住む石川県は、北陸で冬の降雪量と積雪が多い。そして公共交通機関の運行が乱れたり、車などの交通事故が増えたりと、雪はデメリットとしか見られていない。その中で、石川県における雪のメリットについて研究する。特に、雪がもたらす経済効果について研究しようと思った。

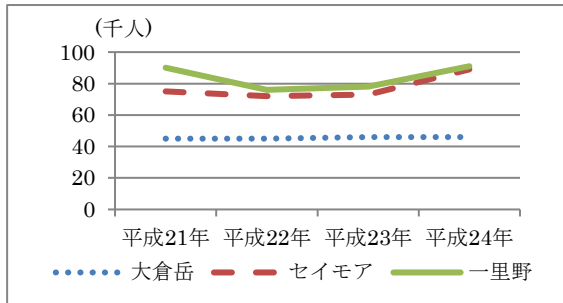
2. 目的

本研究の目的は、デメリットでしか見られない雪のメリットの経済効果を明らかにすることである。石川県にはスキー場があり、冬になると県外からの来場者も増える。その来場者数と降雪量との関係を見て、降雪量がスキー場の

表 1：主なスキー場一覧

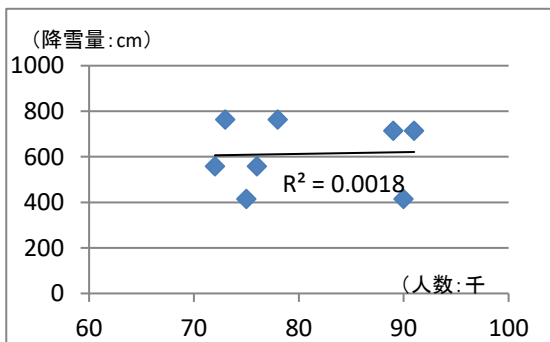
名前	場所	ゲレンデ総面積	昨年の来場者数
大倉岳スキー場	石川県小松市	11ha	46千人
白山セイモアスキー場	石川県白山市	40ha	89千人
一里野温泉スキー場	石川県白山市	45ha	91千人

出所：<http://www.popsnow-net.com/gelände/ge0025.html> (アクセス年月日 平成 25 年 11 月 28 日)



出所：http://toukei.pref.ishikawa.jp/search/detail.asp?d_id=2596 (アクセス年月日 平成 25 年 11 月 28 日)

図 1：過去 4 年のスキー場来場者数の推移



出所：<http://toukei.pref.ishikawa.jp/http://www.jma.go.jp/jma/index.html> (アクセス年月日 平成 25 年 11 月 28 日)

図 2：白山吉野の降雪量とスキー場来場者数

来場者数と正の相関があると仮定して調査する。

3. 研究の方法

石川県の近年の主なスキー場の場所と規模を把握し、基本的なスキー場の情報と来場者数を調査する。具体的には、web 調査と文献調査を行う。

次に、気象庁が公表している降雪量と積雪量のデータを収集した。この降雪量と来場者数の関係について分析する。

4. 結果と考察

表 1 は石川県にある、主なスキー場の場所とゲレンデ総面積と来場者数の一覧である。

図 1 は、過去 4 年間の来場者数の推移を表したものである。セイモアスキー場と一里野スキー場は、平成 22 年から来場者数は増加している。大倉岳スキー場の来場者数は毎年、あまり変わらない。

図 2 は、セイモアスキー場と一里野スキー場の来場者と白山吉野地域の降雪量との関係を表したものである。分布も相関がなく、近似曲線についても相関がなかった。降雪量と来場者数の関係性は見られなかった。今回の分析では、雪のメリットの経済効果を明らかにすることができなかった。以上から、スキー場の来場者数の推移は他の要因があることが推測される。

5. 終わりに

本研究により、降雪量と来場者数の関係がないことが明らかになった。降雪量ではなく、スキー場の来場客の増減には別の要因があることが分かった。この要因の調査に関しては、今後の課題である。

<参考文献等>

- ・スキー場情報サイト POPSNOW&SUMMER
<http://www.popsnow-net.com/gelände/ge0025.html> (アクセス年月日 平成 25 年 11 月 28 日)
- ・いしかわ統計指標ランド 石川県の統計情報ポータルサイト
http://toukei.pref.ishikawa.jp/search/detail.asp?d_id=2596 (アクセス年月日 平成 25 年 11 月 28 日)
- ・気象庁：気象統計情報
<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php> (アクセス年月日 平成 25 年 11 月 28 日)